

中国景気概況(2022年7月)

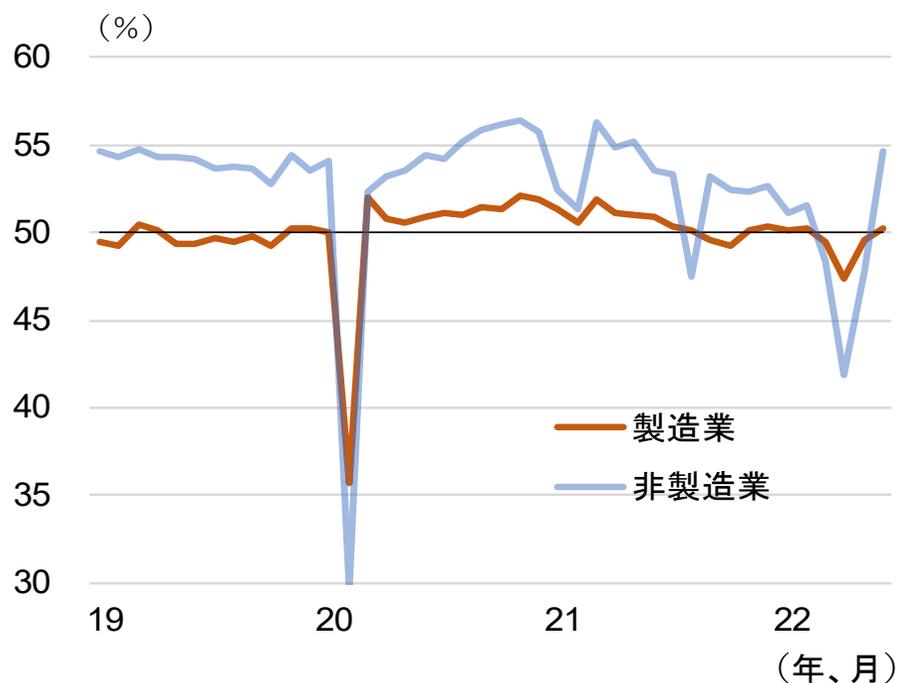
2022年7月4日

調査部 研究員 丸山 健太

PMIは上昇し、景気は持ち直し

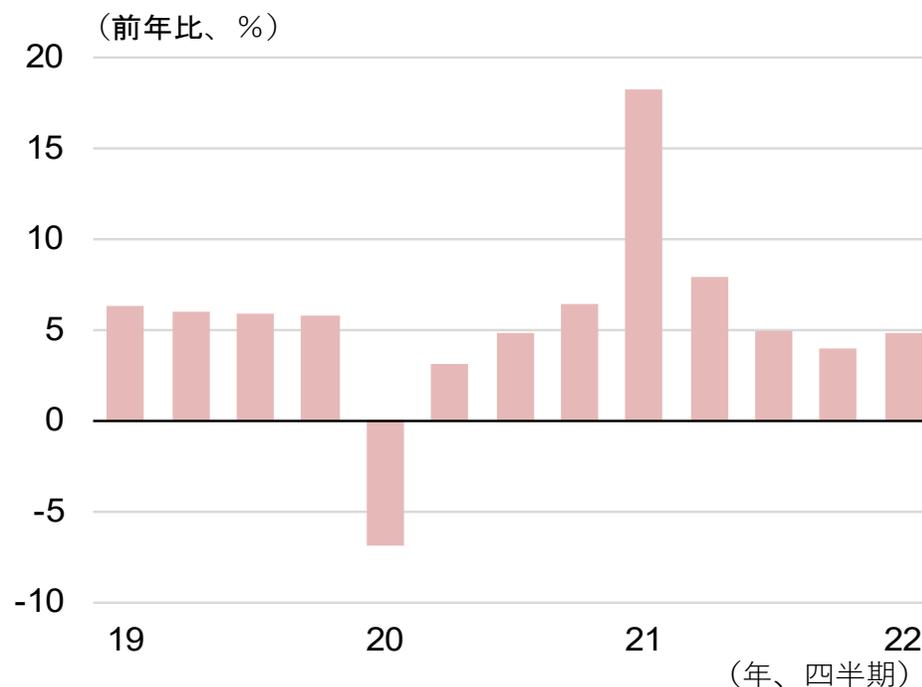
中国景気は上海ロックダウンの影響が一巡し、持ち直している。6月のPMIは、製造業、非製造業ともに上昇し、いずれも好不況の判断の目安となる50を4ヶ月ぶりに上回った。行動制限の影響により需要減少が顕著だった非製造業での改善幅が大きく、調査項目の一つで将来の期待を示す業務活動予測指数も大きく改善した。なお、7月15日公表予定の2022年第2四半期の実質GDP成長率は、上海ロックダウンの影響で4、5月の落ち込みが大きく、前期比マイナスとなる見込み。

PMI



(出所) 国家統計局

実質GDP(四半期)



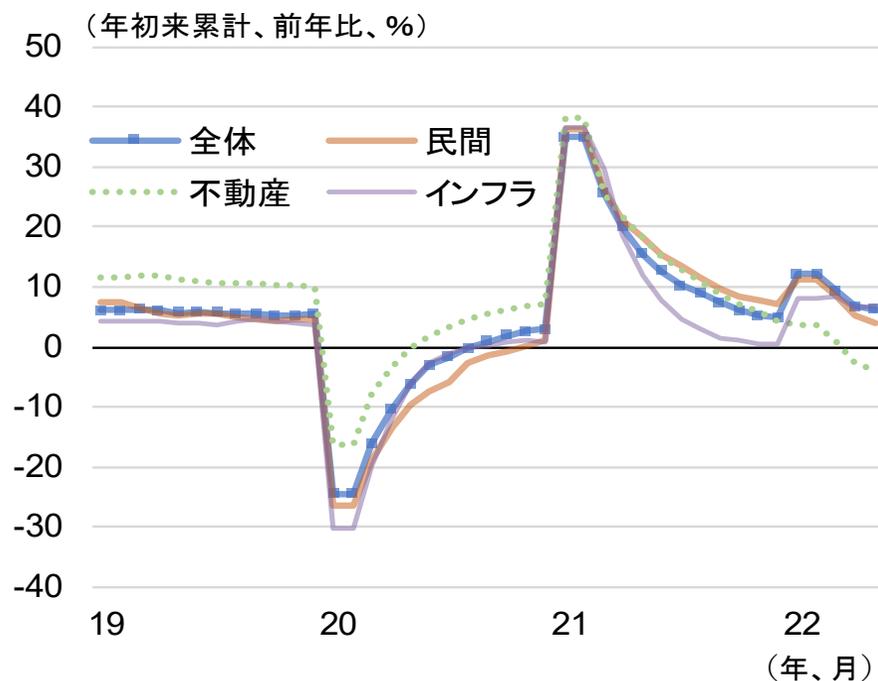
(出所) 国家統計局

固定資産投資は減速、生産は持ち直し

5月の固定資産投資(年初来累計値)は、前年比+6.2%と増加幅が縮小した。政府が拡大方針を示したインフラ投資は同+6.7%と堅調を維持したが、規制強化とロックダウンで需要が縮小した不動産投資は同-4.0%と減少が続いた。

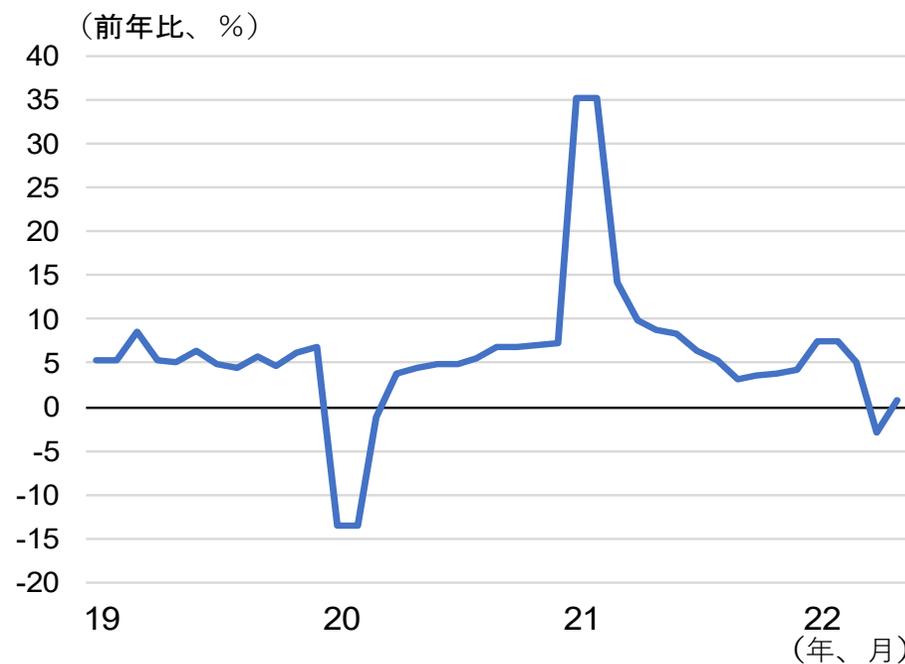
5月の工業生産は、前年比+0.7%と、2ヶ月ぶりに増加した。上海でロックダウンが続く中、徐々に生産活動が再開されたことで、4月に大きく落ち込んだ自動車や汎用機械などの減少幅は急速に縮小した。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



(出所) 国家統計局

消費は大幅減、物価は緩やかに上昇

5月の小売売上高(名目)は前年比-6.7%とマイナス幅は縮小したが、大幅な減少が続いた。上海ロックダウンの影響で飲食(前年比-21.1%)などサービス消費の落ち込みが大きかった。また、減産が続く自動車の販売(同-16.0%)も2ヶ月連続で前年比二桁のマイナスを記録した。6月は上海ロックダウンの解除を受け、消費は回復が期待される。

5月の消費者物価上昇率は前年比+2.1%と緩やかに上昇した。食品やエネルギーの価格が物価を押し上げた。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数

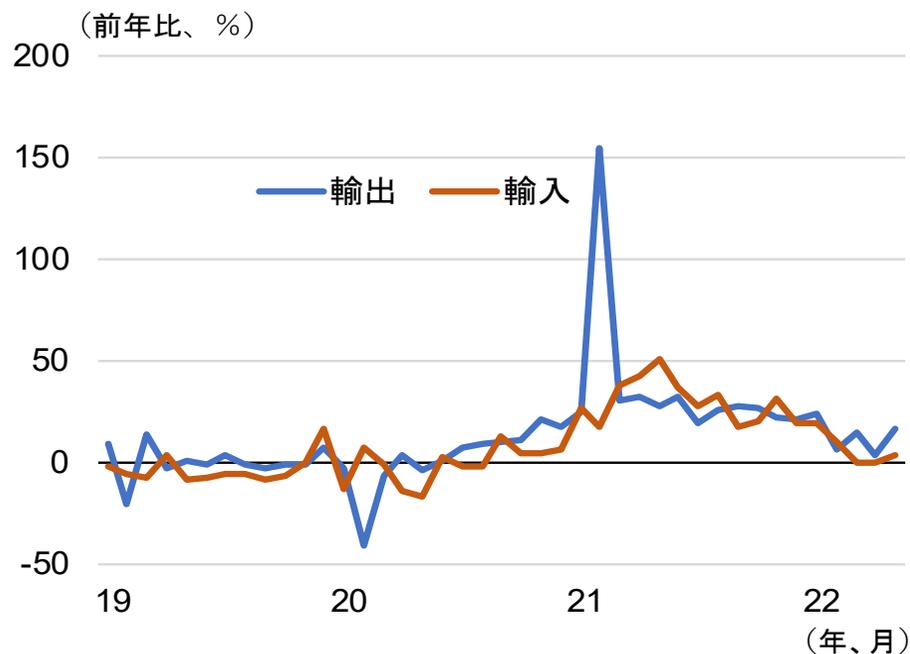


(出所) 国家統計局

輸出は増加幅拡大、輸入は増加に転じた

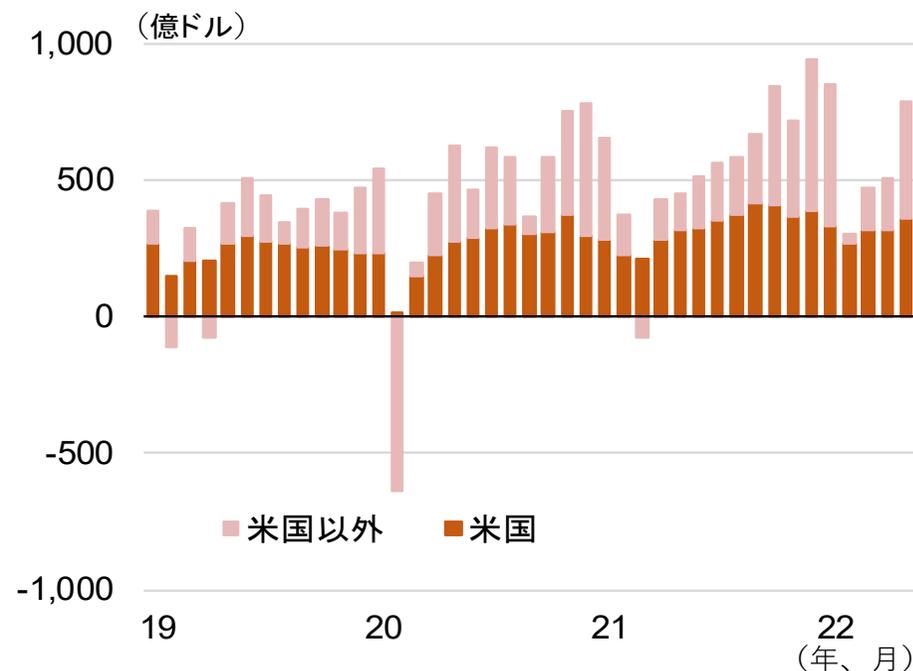
5月の輸出は前年比+16.9%と増加幅が拡大し、輸入は同+4.1%と3ヶ月ぶりに前年水準を上回った。貿易黒字は786億ドルと、前年同月(455億ドル)から拡大した。輸出は、上海ロックダウンの影響が一巡し、半導体等電子部品や電工器材の増加幅拡大が大きかった。また輸入は、内需の弱さを反映し増加幅は小さいものの、対米国で3ヶ月ぶりに増加に転じるなど、回復の兆しがみられる。貿易収支は、対EUの黒字幅が大きく拡大した。

財輸出入



(出所) 海関総署

貿易収支



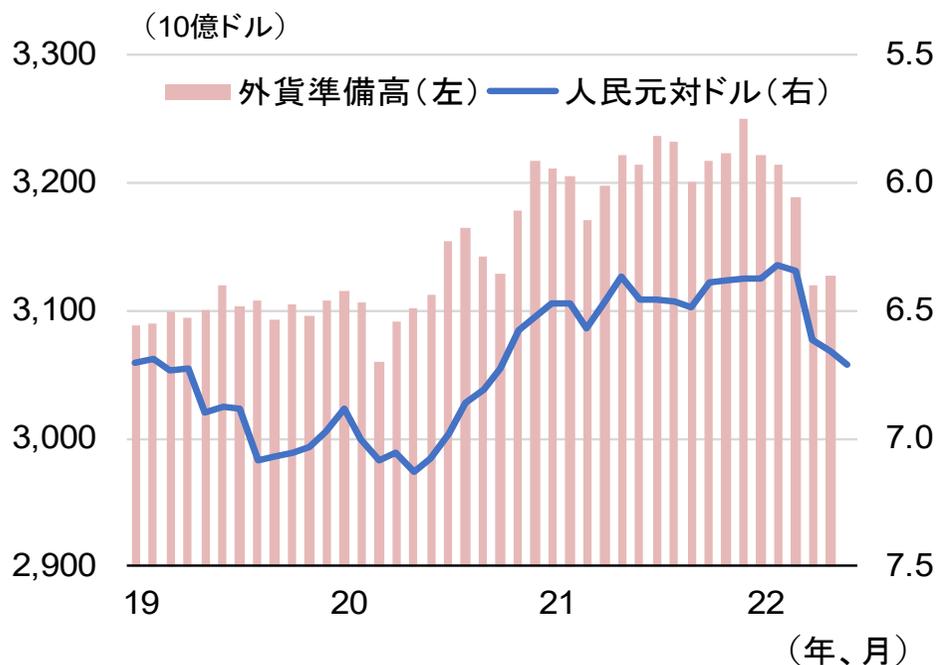
(出所) 海関総署

為替は横ばい、株価は持ち直し

人民元の対ドルレート(6月末値)は1ドル=6.71元と、5月末から元安が進んだものの、米国との金利差拡大は概ね織り込まれ済みで、ここ2ヶ月横ばいで推移している。5月末時点での外貨準備高は、3兆1278億ドルと5ヶ月ぶりに増加した。

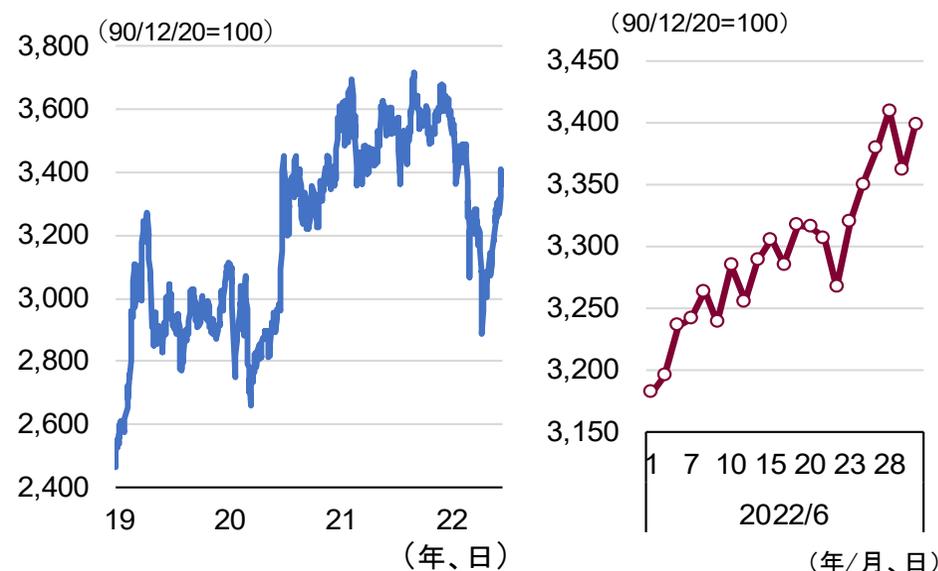
6月の上海総合株価指数は、上海ロックダウン解除や景気刺激策への期待から持ち直しが続いた。米国の対中制裁関税引き下げの決定が先延ばしされるとの観測から一時足踏みも見られたが、上昇傾向は失われず、月間で6.7%上昇した。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

上海総合株価指数

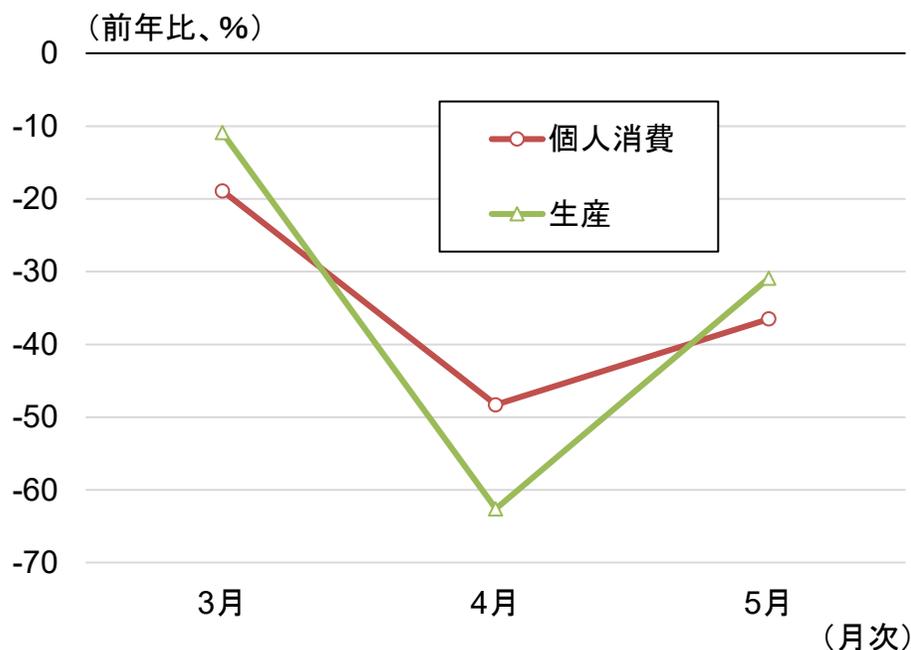


(出所) 上海証券交易所

上海ロックダウンの解除で景気持ち直しへ

6月1日に約2ヶ月続いた上海でのロックダウンが解除された。ロックダウン下の上海市では、工業生産（4月前年比－62.6%）や、サービスを中心に個人消費（同－48.3%、左図）が大きく落ち込んだ。5月は制限付きながら徐々に行動制限が緩和されたこともあり、生産、個人消費とも前年比マイナス幅が縮小しており、ロックダウン解除後には一段の回復が期待される。中央政府は、5月31日に6分野33項目にわたる景気下支え策（右図）を打ち出すなど、上海ロックダウン解除後の自律的回復に乗り、秋の共産党大会に向けて景気を上向かせようとの狙いが見える。

上海市の個人消費と生産（前年比）



（出所）上海市統計局

「経済を着実に安定させる包括的政策措置」（国務院5月31日公表）

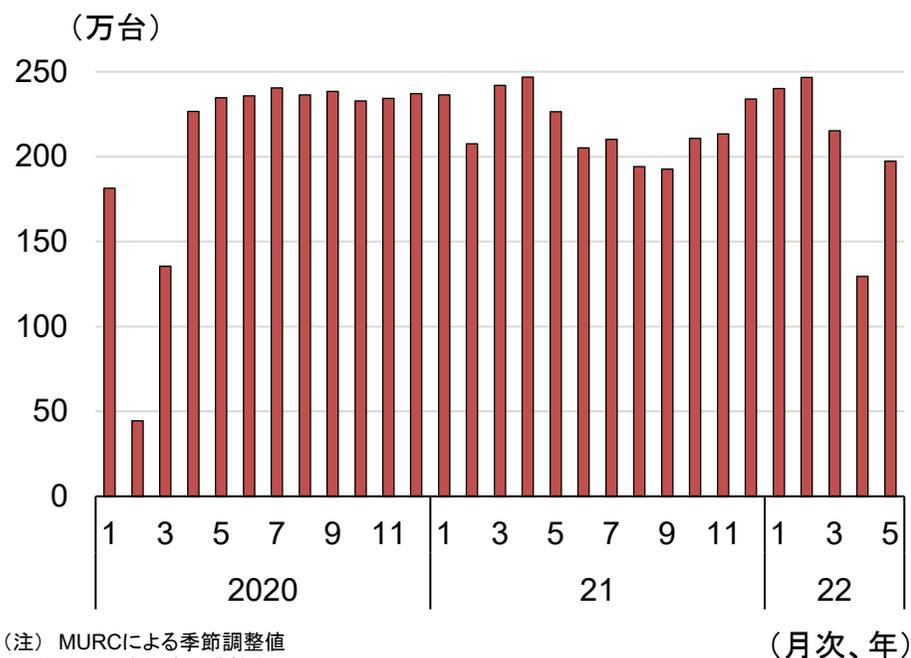
	主な内容
1 財政政策（7項目）	・増値税還付の対象拡大 ・インフラ債の発行・執行の加速
2 貨幣金融政策（5項目）	・商業銀行に対し、中小零細企業等への融資の元本・利子の返済猶予の奨励
3 投資安定・消費促進等政策（6項目）	・港湾など交通インフラ投資の加速 ・自動車や家電などの消費拡大
4 食糧・エネルギー安定確保政策（5項目）	・食糧生産への収益保障政策強化 ・石炭や石油等エネルギーの備蓄能力拡充
5 産業チェーン・サプライチェーン安定政策（7項目）	・企業のインフラ使用コスト低下 ・民間航空等コロナで打撃を受けた業種への補助拡大
6 基本民生維持政策（3項目）	・農村での就業・創業支援政策拡充 ・物価上昇対策などを通じ、低所得者層の基本的な生活を保障

（出所）国務院公表文書より（http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2022-05/31/content_5693159.htm）

上海ロックダウン下で減少した自動車販売・生産

中国の自動車販売台数は、3月から3ヶ月連続で前年割れとなった。特に4月は大きく落ち込み、単月の生産台数は、自動車産業の集積地である武漢市でロックダウンが採られた2020年2月以来の低水準だった(左図)。国内自動車生産台数において10.7%のシェアを持つ上海市でロックダウンが採られたうえ、サプライチェーンで結ばれる他の地域での生産も減少した(右図)。中国乗用車協会(CPCA)によると(注1)、上海市の自動車生産は6月中旬までにコロナ前を回復したとのことだが、ロックダウン前から半導体など部品不足は続いており、自動車販売・生産は当面弱い動きが続こう。

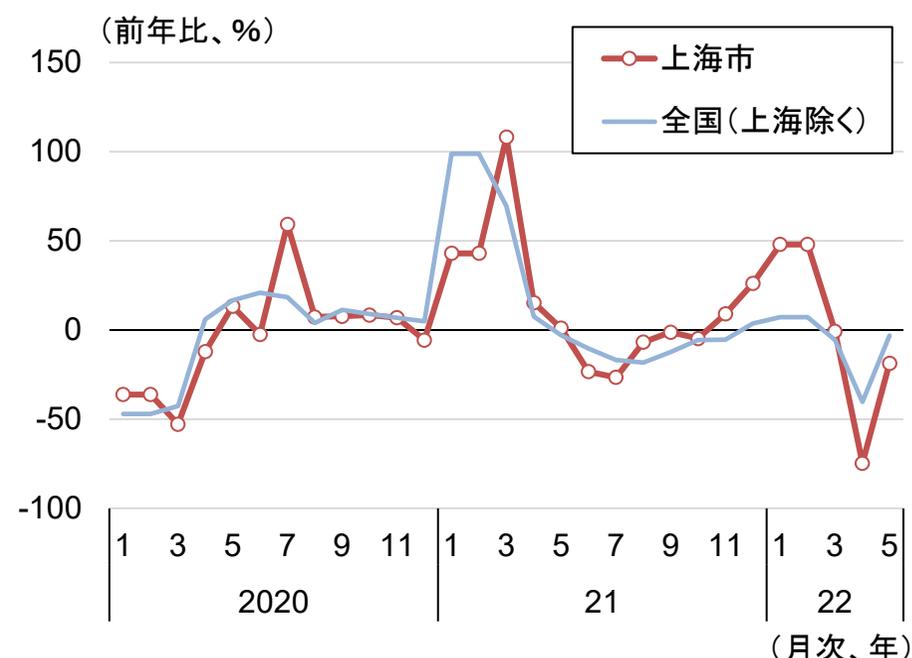
自動車販売台数(季節調整値)の推移



(注) MURCIによる季節調整値
(出所) 中国自動車工業協会

(月次、年)

自動車生産台数(前年比)の推移



(出所) 国家統計局

(月次、年)

(注1) <http://www.cpcauto.com/newslist.php?types=yjsy&id=399>

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください